

佐波川水害タイムライン策定に向けての今後の予定

■ タイムラインの策定に向けて、検討会を数回開催し、2019年度内の完成を目指す。

2019年2月6日 佐波川タイムライン
説明会

・関係機関(減災対策協議会(幹事会))を集め、「佐波川タイムライン」策定に向けての説明を行った。

H31.1~H31.2
山口県、防府市、山口市以外の関係機関において説明

2019年3月28日 佐波川タイムライン
検討会 発足式

・関係機関を集め、「佐波川タイムライン検討会」発足式を行った。
(座長選定等)

2019年9月24日 佐波川タイムライン勉強会

・担当者へ「佐波川タイムライン素案」の説明及び意見交換、確認・共有

2019年10月30日 第1回佐波川タイムライン検討会

・「佐波川タイムライン素案」説明及び意見交換、確認・共有

勉強会等により伺った意見等を反映した防災行動項目を「佐波川タイムライン素案」に反映し、佐波川タイムライン(素案・修正版)を作成

2019年11月下旬 第2回佐波川タイムライン検討会

・図上訓練を実施し、佐波川タイムライン(素案・修正版)に基づき、各関係機関の行動手順及び行動項目のタイミングを確認

訓練結果をフィードバック

2020年1月中旬 第3回佐波川タイムライン検討会

佐波川タイムライン(案)の完成

2020年2月 佐波川タイムライン検討会
完成式

「佐波川タイムライン検討会」にて承認

佐波川タイムライン完成

2020年出水期～ 実際の台風にあわせてタイムラインを実施。
実施状況を検証しフォローアップ

図上訓練（第2回佐波川水害タイムライン検討会で実施予定）

1. 訓練の目的

- 佐波川水害タイムライン(素案・修正版)について、関係機関の防災行動項目および連携項目の内容・タイミングや役割を共有し、相互理解を深める。

※訓練メニューには「前線性豪雨等の発生による急激な水位上昇時の課題や対応策に関する意見交換」についても盛り込む予定

2. 訓練の方法

- 災害対応の流れ、各機関の役割を共有し、効果的な防災行動が実現できるかを確認するための図上訓練(読み合わせ訓練)を実施する。

3. 訓練の流れ

①レベルの状況説明

- ・「事務局」から想定シナリオ(台風進路、気象、水位等)を報告する。

②タイムライン立ち上げおよびレベル移行の周知

- ・「山口河川国道事務所」からタイムラインの立ち上げおよびタイムラインレベルの移行を周知する(読み上げる)。

③防災行動項目の確認・共有

- ・「事務局(行動内容によっては関係機関)」から防災行動項目の内容を読み上げる。
- ・「関係機関」は自機関の防災行動項目および内容を確認するとともに、『役割シート(●:主体機関、○:支援機関等)』を挙げて、他の機関と共有する。【右写真参照】

④当該レベルにおける振り返り

- ・改善点や疑問点等について意見交換し、関係機関で共有する。

■読み上げ例(タイムライン立ち上げの周知)

行動項目①:タイムラインの立ち上げについて周知いたします。
※本件については実際はメールとFAXにて配信予定です。

- 佐波川水害タイムライン検討会メンバー 各位
- ・9月24日(火)午前10時に実施したタイムライン内部会議の調整結果を共有します。
- タイムラインの立ち上げ
- ・台風経路や今後の気象情報の予想からタイムラインの運用を開始します。
- 現在のタイムラインレベルは【0】です。
- ・タイムラインレベル0で実施予定の対応をお願いします。
- ・今後の台風および気象情報にご注意し、行動してください。

訓練の実施事例



自機関の行動を確認するとともに、『役割シート』を挙げて、関係機関間の役割を把握・共有する

※レベル0から5まで①〜④を繰り返し